

鯨箱

口“新”口入



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

生徒会室を
後にしたくじらは
次なる選挙戦に備えて
自身の強化を試みるが…

しくじったぜ
調合でもミスったか
体の調子がおかしい…

まだ選挙戦は
残ってるのによ…

クソッ

!!

アンタは

球磨川センパイ…

『こんにちは』

俺になんか
用かよ?

『うん 単刀直入に
聞くけど…』





「残念だよ」

なにしやがる!!

?!



『媚薬で弱ってる
女の子をムリヤリ
押さえつけて
犯すなんて事さ』



ってめえ...



ごめんね ホントは
こんな事したくないんだ

「こんな…」



なんで俺が媚薬を飲んだかもって事を知ってやがる？

『あっしまったー』

『なんてね』

『実はアレ僕がこっそり仕込んでおいたんだ』



『触っても居ないのにもうぐちゃぐちゃだ』



『ほら』

ふあああん？！



?!
なんだ今の声

俺かー？！



なんだと…?!

『二つ返事で仲間になるとは思ってたかったからね保険だよ』

『そんな声出して
もしかして誘ってる?』

『据え膳食わぬは
男の恥だよぬ!』

おい何…っ
するつもりだ

の
やめろッ

なんだコレ…
胸がまるで

アソコ擦られてる
みたい気持ちいい

あっ♡

にゅぽ♡

にゅぽ!















「名瀬さん…出るよ
口開けてっ！」



さっきまでの虚無感が
嘘みたい甘い感覚が
全身に広がっていく…

俺の体悦んでる
幸せを感じてる…っ♡

「おしゃぶりしながら
感じてたの？
アソコびちょびちょだよ」

『フフそれじゃあ今度は
どうして欲しいか自分で
おねだりしてごらん』

お：お
願：い
し：ま
す

こ：こ……俺のおまんこに
セ：ンパイの……おちんちんを

『よく出来ました
そんな素直になった
名瀬さんには』

『お待ちかねの
おちんちんを
プレゼント
してあげよう』

あ……入っちゃう
ソコ越えたらもう
戻れないのに……

もう堕ちるだけ
なっちゃうのに……

挿入してくれ……いや
挿入してください……ッ

逆らえない
拒めない
止められない…

墮ちる…
墮ち…ツ
!!!

あああああ
あああああ
あああああ

はいったあ…
もっ…う
墮とされた…
俺の体…
ちんぽにいいい

『動へよ』

まっ…

はんっ
あああ





「絞まる…っ
名瀬さん
膣内に出すよ」



俺…悦んでる
孕ませられるかもって
思っって幸せ感じてる…っ

あっあ俺のナカに
センパイの精子が
たくさん出てる…っ



休ませて
くれ…っ

ちよっ
待ってくれ
センパイ



「今度は後ろから
犯してあげる
机に手ついて
お尻こっちに向けな」



んんっ



「じゃあ
僕等側に
来てくれる？」

「そうしたら
僕がキミを
女の子として
幸せに……」

「チンポ奴隷に
なるために仲間を
裏切ったヤツとして
最高に不幸に
してあげるよ」

イクツ、いくから
黒神も兄貴も
どうでもいいっ

俺のおまんこ
もうセンパイの
ちんぽに
逆らえない……っ

今まで色んな
不幸を求めたけど

センパイの
ちんぽ無しなんて
考えられないんだ
こんな幸せ
知っちゃったらよお♡

「フフフ随分
しおらしく
なっちゃったね」

「可愛いよ
「黒神くじら」ちゃん」

それに……名前
よび……ながら……
突かないでくれええ

んんんんん

「嬉しくてイッちゃったの？
でもイケナイ子だね」

「奴隷がご主人様を
差し置いて一人で
イッてるなんて」

あ……

『おしおきだ』

んんんんん
あああ

あたまバカになる
イキすぎてっ
もっ…うらめ…っ

また…っ
イクうううッ



『イクよー!
今度は一緒にっ』

はあはあ
はあはあ
はあはあ

ズンズン
ズンズン
ズンズン

ガクガク
ガクガク
ガクガク

ズンズン
ズンズン
ズンズン

ガク
ガク

ガク
ガク

ズンズン

ガク



『我ながら
いっばい出して
しまったなあ...』

『これは赤ちゃんか
出来てしまうかも...
どうしようか
くじらちゃん?』

ズンズン
ズンズン

ズンズン...

ガクガク
ズンズン
ズンズン

した...

「大嘘憑きで無かった事に
して上げる事も
出来るケド」

いや…
このままで構わない
俺は今日から…
アంతのモンだ

あの虚無感を
味わうのも悪くないが
今はこの幸せを
感じていたいんだ…

改めて…これから
ヨロシク頼むぜ
球磨川センパイ

「そ良かった
歓迎するよ」

「ようこそ
過負荷へ」

…っ!!
…じ姉!!

球磨川!!
くじ姉ッ!!

『うるさいなあ
めだかちゃん
何か用かい?』

球磨川!!

先日の
選挙戦以来
くじ姉の姿が
見えない

『信用無いな
傷ついちゃうよ』

『知っている
事か...そうだね
一つ教えて
あげられる事が
あるよ』

合宿中の人間を
襲わせる様な
キサマだ

何か知って
いるのではないか?
話してもらおう

『出ておいで』

ス...

!?

キッ
キッ

くじ
姉?!

『黒神くじらちゃんは
過負荷側に付いた』

『次の選挙戦が
楽しみだね...
めだかちゃん』

こんにちは、山根玲(ヤマネアキラ)です

めだかボックスから名瀬ちゃんこと黒神くじらちゃんです
半目で三角口に弱い僕が気に入らないはずがないのでした
作業中は単行本9巻を傍らに作業してました
個人的にこの巻のくじらちゃんの活躍が一番好きなので
ここでもしこうなったら…!
という感じのお話です

さて今回は、今まではSAIのグレースケールで本を描いていたのですが
買って一年以上も使っていなかったのが今回初めてコミックスタジオを
使って表紙以外の全てを作業してみました、ムズい!
だけど白黒って軽いですね!(容量的な意味で
SAIだと仕上げ作業に近づくにつれ作業が重くなっていたのですが
コミスタは終始変わることなく作業できて快適で
グレスケだとクドいベタ塗りも白黒だと
気持ちスッキリしてる感じがして
全身黒タイツなくじらちゃんは描いてて楽しかったです

これからも漫画はコミスタで描いていこう…

アニメも始まりまして、どこまで映像化するかわかりませんが
コレを機にくじらちゃん好きが増えると嬉しいですねッ
早く!動いて揺れるくじらちゃんはやう!

それでは最後までご覧頂きありがとうございました!
また次の本でお会いしましょう(甘△甘)ッ

■発行 G.to.ME!
■著者 山根玲
■印刷所 B.H.Press
■発行日 2012/5月



今回の作品はM-T-GATE(同人堂)モバイルサイト
デジコミip([http://digi.comiip/web](http://digi.comiip.web))にて
発行日より週間程度で配信されます。



鯨箱
クジラボックス

PRESENTED BY
G.to.ME!